



研修センター屋  
上からの  
初日の出  
左に見えるのは  
筑波山

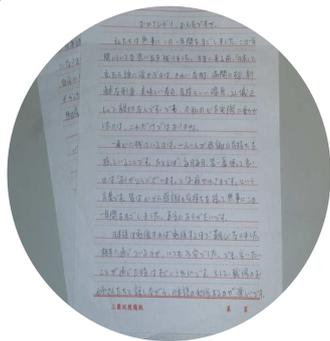
# あじけん通信

2014 JANUARY  
VOL.73

株式会社きぼう国際外語学院  
企画・編集 澁谷 健司

新年明けましておめでとうございます。  
新社名「きぼう国際外語学院」としての1年がいよいよスタートしました。  
今年もアジア研修センター、通称「あじけん」で、日本語学習に励む実習生の皆さんの様子  
をお届けしていきたくと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

## あじけんスコープ Vol.18 ~実習生からの便り~



今回のあじけんスコープは、これまでお届けしていた「規則を守れない実習生の困った実態」をお休みして、1年間の技能実習を無事に終えて帰国する間際のある中国人実習生（女性）から本校日本語講師一同に届いた1通の手紙をご紹介します。本校を卒業して、日本での技能実習を終える間際の実習生から、帰国前に何らかの便りが届くことは殆どありません。なので帰国前の挨拶状が届いたこと自体が、あじけんでは嬉しいニュースだったのですが、手紙の内容も素晴らしかったので、この場をお借りして、全文を原文のままをご紹介します。

TBCの先生方

おひさしぶりです。お元気ですか。

私たちは無事にこの一年間をすごしました。この一年間いろいろな思い出を残しました。日本に来る前「日本」と言ったら頭に浮かぶのは、きれいな町、満開の桜、新鮮な刺身、美味しい寿司、気持ちいい温泉、礼儀正しく親切な人です。でも、今私の心を実際に動かしたのはこれだけではありません。

一番心に残っているのは、一人一人が感謝の気持ちを持っていることです。たとえば、毎日毎日皆一番使った多いのは「ありがとうございます」「お疲れ様です」と言う言葉です。皆は心から感謝の気持ちを持って無事にこの一年間を過ごしました。本当にありがたいです。

日本語は勉強すればするほど、難しくなりました。相手に通じているのか、いつも不安でした。でも言いたいことが通じた時はすごくうれしいです。そして職場のおねえさんたちと話しながら、日本語の勉強をするのが楽しいかったです。習えば習うほどおもしろくなりました。難しいと思っていた日本語が少しずつわかるようになり、楽しいと思えるようになりました。日本語の勉強を通じて友達もできました。自分に自信を持つこともできました。日本に来て本当によかったです。この一年間で収穫したものは、私の大切な財産です。先生たちのお世話になりました。ここから感謝いたします。先生たちのことを絶対忘れません。すぐ帰国します。さようなら！ご健康をお祈りいたします。

## 今月の実習生



今月の実習生は、年末に実習先宛に送った年賀ハガキの返事が、当センターに届いて大喜びのフィリピン人実習生、左から OLIVIA PACIV (オリビアさん)・JANET OLIVA (ジェンさん)・JERALYN MANVEL (ジェラさん) の3名です。

研修センターでの滞在期間に限られている実習生に、年賀状の返事が届くことは、極めて稀なことです。日本でもらう初めての年賀ハガキ。宛名は筆書き、文面は日本語と英語で書かれており、その心配りにもとても感動していました。

ねんがじょうのへんじがきて、わたしたちはとてもうれしいです。とても、きもちがいいです。そして、とても、かんしゃのきもちです。はやく、かいしゃにいきたくです。

オリビア、ジェン、ジェラ

# あじけん流日本語授業

今年第1回目の「あじけん流日本語授業」は、昨年の暮れ行なわれた「きもの」を題材にした授業の様子をお届けします。授業を担当したのは本校日本語講師の伊藤弓子先生。伊藤先生は、和服、特に着物に造詣が深く、もちろん着付けもお手の物。授業では、着物の歴史や種類（柄）・素材等について、技能実習生の日本語力に配慮し上手く語彙をコントロールしながら、分かり易く説明してくれました。

実習生の皆さんは、全員女性と言うこともあり、実際に目にする憧れの「にほんのきもの」に興味津々。熱心にノートをとったり、目を輝かせて着物の感触を体験したりする姿がとても印象的でした。また、この日は1日中着物姿で授業を行なった伊藤先生、休み時間には他のクラスの実習生の皆さんにも引っ張りだこ。学校中の注目の的になっていました。



昨年暮れ、実習生の皆さんに、着物について質問されたことをきっかけに、折角ならと、着物を着て出勤することを思いつきました。着物姿で授業をすることには多少ためらいもありましたが、11名の実習生の大半が縫製業を専攻している技能実習生だったこと、また、年末年始は、実習生の皆さんが街やテレビ等で着物を目にする機会が増えること等を考えると、皆さんに実際に着物を見たり、触ったりしてもらうことは大いに意義があると思い、挑戦してみました。大好評だったので、これからも着物での授業に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

伊藤弓子



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。